



発行 五城目町役場 ☎ 0188 62 2100(代)
018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎ 0188 62 2430
毎月 1日・15日発行 一部 35円



お年寄りに人気のあるゲートボール（体育の日、運動広場で）

体育の日を楽しむ

気をつけたい運動不足

健康づくりに心がけてください

成人病の予防は、若い時から始めなければならないと言われています。若い人たちも将来、健康な老後を迎えるために食生活に気をつけ、運動不足にならないようにしてください。

また、お年寄りは若い時に比べて、病気になりやすい体になっています。お年寄りにとって健康を保つには、バランスのとれた食事、適当な運動、定期的な健康診断はもちろん必要ですが、充実した生活を送るようになります。お年寄りにとって大切なことです。充実した老後生活を送ることによって、病気から遠ざかる、これもお年寄りにとっては、運動と同じくらい健康づくりに役立つようです。

運動不足は心身のバランスを崩す原因

健康と運動は密接な関連があるようです。ふだんから運動やスポーツをしている人と、していない人の体力差は、予想以上に大きいという体力測定結果がでています。

体力は、二十代の半ばから低下するといわれています。今日では職場はもちろん、家庭生活の面でも電化や機械化が進み、わたしたちの暮らしはたいへん便利になりました。しかし、その半面、わたしたちの体を動かす機会は、以前に比べて極端に少なくなっていることも事実です。その結果、知らず知らずのうちに運動不足に陥り、体力の低下に一段と拍車をかけるという悪影響をもたらします。運動不足は単に筋肉の働きを衰えさせるばかりでなく、神経、心臓や血管などの循環器系にまで悪影響を及ぼし、心身のバランスを崩す原因になるそうです。

「体育の日」町内でも各種スポーツ大会

「体育の日」の十日、全国でいろいろな催し物が行われましたが、町内でも各種のスポーツ大会が開かれ、参加者たちは秋晴れのもとでスポーツを楽しみました。雀館運動公園の運動広場では、ゲートボール、ソフトボール、テニスが行われ、五城目町歩こう会の人たちは、広域体育館前から馬川神社を目指して出発しました。また、広域体育館では小学生によるミニバスケット大会も開かれました。

県最低賃金の改正

一日二千八百五十八円

秋田県内で働くすべての労働者に適用する秋田県最低賃金が、次のように改正されました。

▼秋田県最低賃金

一日二千八百五十八円
一時間：三百五十八円

(一時間当たりの金額三百五十八円は、時間給労働者についてのみ適用されます)

昭和五十六年十月十六日以降はこの最低賃金額より低い賃金で、労働者を使用することはできません。もし違反した場合は、最低賃金法で罰せられます。

最低賃金額には、次の賃金は算入されません。

- 精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- 臨時に支払われる賃金および一ヶ月をこえる期間ごとに支払われる賃金
- 所定労働時間をこえる時間の労働に対し支払われる賃金(時間外および深夜労働手当)
- 所定労働日以外の日の労働に対

して支払われる賃金(休日労働手当)

現行の「産業別最低賃金」が今回改正された「秋田県最低賃金」より低い場合は、高い方の「秋田県最低賃金」が適用されることになります。

また、精神、身体の障害により著しく労働能力の低い者、試の使用期間中の者、所定労働時間の特に短い者などで最低賃金の適用が困難な場合には、その者について最低賃金の適用が除外される場合があります。

最低賃金について不明の点があるときには、労働基準監督署または秋田労働基準局賃金課(☎62-6681)におたずねください。

業務は、最低賃金法に基づく産業別最低賃金の改正に関する調査、審議することです。任期は二年。



伊藤万治郎

職業訓練生の募集

昭和五十八年十月一日から秋田天王総合高等職業訓練校(南秋田郡天王町天王字上北野4-143番73-13177)では、昭和五十八年度の訓練生を募集します。

△応募資格

昭和五十八年三月に中学校および高等学校卒業見込みの者、または義務教育修了以上の学力

を有する男女で、技能習得意欲のある人

▽募集期間 十一月一日～三十日
・普通訓練課程(二年訓練)
機械科機械専攻二十名
機械科仕上専攻二十名
板金科二十名
自動車整備科二十名
・能力再開発訓練課程(一年訓練)
機械科仕上専攻十名
自動車整備科二十名
配管科二十名
塗装科二十名
電気工事科二十五名

カメラリポート

運動会で園歌を披露

五城目保育園創立10周年

五城目保育園では、十月三日、園庭で創立十周年記念の運動会を開催し、その開会式で園児たちが同園の園歌を父兄たちに披露しました。

この園歌は創立十周年を記念して制定されたもので、作詩は同園の理事長である安東誠氏、作曲は山平秋明氏によるものです。

(「五城目保育園園歌」)

一、強く明るい子になろう

森山仰いで僕達は

折り紙おゆうぎ砂あそび

毎日元気に過ごしましよう

楽しい五城目保育園

二、優しい先生待って居て

今日も楽しい私達

すくすく育つ木の様に

大きな五城目保育園



表彰された浦田さん(左)、石川さん(中)、齊藤さん

優良看護人を表彰

五城目町老人福祉大会

催す第十八回五城目町老人福祉大会は、九月二十八日午前十時から広域体育館で六十歳以上の年寄り四百六十人が参加して行われました。佐藤勝太郎会長のあいさつの後、ねたきり老人優良看護人の表彰があり、浦田タチエさん(大川二区)、石川トメさん(杉沢)、斎藤末吉さん(小池町)に佐藤会長から表彰状と記念品が贈られました。この人たちは、ねたきり老人に対する長年にわたる献心的な看護が認められて表彰されたものです。

大会ではこの後、加賀谷町長など来賓のお祝いのことば、前五城目保健所保健監理指導員南都氏の講演、五城目警察署外勤交通課長の講話などがありました。



運動会で体操をする園児たち



準優勝した五城目A五人の侍

五城目A準優勝

湖電旗争奪剣道大会

九月二十三日八郎潟町民体育館で、第二回湖電旗争奪剣道大会が行われた。この日参加したチーム数は、五城目の四チームをはじめ二十九チームの参加であった。

五城目のDチームは初戦を飾ることはできなかつたものの、ABCは二回戦に駒を進めその活躍が期待された。しかし、二回戦で優勝候補の井川Aと対戦したCが敗退、五対ゼロで準々決勝まで駒を進めた五城目Bは、井川Bに惜しも敗れてしまった。

決勝への関門準決勝で井川Aと対戦した五城目Aは、戦前の予想を覆しよく踏んばつた。先っぽうと副将が引分けに持ち込み、中堅渡辺と大将で決勝進出を果した。

二本で率先よいスタートをしたが次ほう背生、中堅渡辺（澄）連続メで敗退、準々決勝までのすばらしい動きがみられず、五城目の大誤算が生じた。しかし副将原田がタイに持ち込み、決勝戦は大将戦で決まるという熱戦となつた。五城目の小野（亨）は、大会随一の力を誇る飯田川大石からメの先手をとりあわやの期待をもたせた。

しかし大石の実力はさすがで、得意のメを二本打ち込み飯田川Aに優勝をもたらした。五城目Aにとっては惜しみてもあまりある一戦であった。

決勝進出は、五城目Aと飯田川Aで昨年と同じ顔ぶれとなつた。

昨年飯田川に一敗地にまみれている五城目にとっては雪辱戦でもあつた。いよいよ決勝戦、ドライな現代っ子たちもさすがに緊張感がピーンと会場にみなぎる。

先ほう五城目の小野（亨）が二本で率先よいスタートをしたが次ほう背生、中堅渡辺（澄）連続メで敗退、準々決勝までのすばらしい動きがみられず、五城目の大誤算が生じた。しかし副将原田がタイに持ち込み、決勝戦は大将戦で決まるという熱戦となつた。五城目の小野（亨）は、大会随一の力を誇る飯田川大石からメの先手をとりあわやの期待をもたせた。

しかし大石の実力はさすがで、得意のメを二本打ち込み飯田川Aに優勝をもたらした。五城目Aにとっては惜しみてもあまりある一戦であった。

決勝進出は、五城目Aと飯田川Aで昨年と同じ顔ぶれとなつた。

昨年飯田川に一敗地にまみれている五城目にとっては雪辱戦でもあつた。いよいよ決勝戦、ドライな現代っ子たちもさすがに緊張感がピーンと会場にみなぎる。

先ほう五城目の小野（亨）が二本で率先よいスタートをしたが次ほう背生、中堅渡辺（澄）連続メで敗退、準々決勝までのすばらしい動きがみられず、五城目の大誤算が生じた。しかし副将原田がタイに持ち込み、決勝戦は大将戦で決まるという熱戦となつた。五城目の小野（亨）は、大会随一の力を誇る飯田川大石からメの先手をとりあわやの期待をもたせた。

竜宮一家のみなさん

伝言板

内盆踊り大会の決算書が、別表のように出ましたので報告いたします。

ご協力いただいた多くの方々には、この紙面を借りまして深くお礼申しあげます。

なお、残金は繰越金、太鼓修繕費、運営費に当てさせていただきます。

盆踊り大会会計報告
五城目青年会
去る八月二十一日、五城目単青主催により行いました「旧町

盆踊り大会会計報告
五城目青年会
去る八月二十一日、五城目単青主催により行いました「旧町

盆踊り大会決算書

項目	予算	決算	備考
収入の部	350,000円	538,065円	
寄附金	350,000	538,065	世帯数 683 広告代 45,000
支出の部	350,000	335,185	
材料費	30,000	8,620	灯籠製作代と糊等 電気工事代、他
施設費	90,000	82,290	板線等
賞品	150,000	134,060	大人 250人分 児童 300人分 他清酒、副賞等
謝礼	15,000	20,660	審査員 4名 他
事務局費	10,000	10,000	通信費、印刷代
飲食費	50,000	72,055	食事、アトフキ他
雑費	5,000	7,500	クリーニング代 記念タテ、他
残金	0	202,880	繰り越修繕費 青年会運営費

秋田県婦人労働講座

丁目一／一／一 60-1721

へ十月二十三日までに申し込んでください。電話での申し込みも受け付けます。

▽期日
十月二十六日・二十七日

▽場所
秋田市山王島町一

△65-11171

▽募集人数 四十名
▽受講料 無料
▽申し込み方法

秋田県労政課（秋田市山王四

町議会九月定例会の記事
は紙面の都合により、十一
月一日号に掲載いたします。

広報文芸



婦人会川柳ヶ月ノ

一級類

別居して三食昼寝よく太り
外面は気楽に見せる火の車
ひとり住む女気楽な火を創る
氣楽さは他人の居ない暮しむぎ
会計はまかせ連れ立つ宿の下駄
老夫婦気楽なおかんと鍋でゆく
ハンドルを妻に任せてかくいび
うぶ声に気楽な夫も身構える
アルバイト気楽に稼いだだけ使
ワンカップ釣竿たれる日ののど
長生きの秘訣気楽な遠い耳
節くれた掌にも気楽な趣味があ
字を拾う孫と童話の中に居る

橋の香のにおう秋風豊年と打ち込む太鼓に揃う
踊り子 佐藤ミネ 拾い読む歌碑新しき屋上に歌会の我等少女の如く
夕庭にひそかに咲けるききようの小さき一輪に
夕日及べる 村上秀子
父の分身として三十五年母の指飾りし指輪吾が
掌に光る 山平富子 老いて病む姉に荷造る小包に幼き孫への絵本も
入れる 渡辺タカ ハネムーンも終えて五日目長距離の受話器の奥
に娘の声弾む 鍋谷フクエ 姉妹を扶へてお出でなさい
台風去り友と憩える湯の宿に白芙蓉の花大きく
咲けり 斎藤クニ子 娘ら孫ら集いて語る温泉(ゆ)の宿に夫時折目
娘をふく 船木セツ

五城目婦人会短歌クラブ

藤原 福島 ミツ
佐々木敏子 文
小林みどり 文
鍋谷 福枝 文
佐藤 ミネ 文
八木下みきる 文
渡辺 銀雨 文
一関 北柳 文
草皆 チエ 文
松田ウタ子 文
平川みつえ 文

影をふむだけで御利益あると言う宝けう印塔鎮座ますま
木々繁る大庭園の中央に宝けう印塔鎮座ますま
束の間の夏とも思う風鈴の音色も錆びて肌に秋
知る
豪華なるパークホテルの一室で短歌教わる身を
引きしめて
師の歌碑の吟行詠のベンを持つ農婦のわが掌陽
焼利益のある影踏まんとたずね來し宝けう印塔
小雨に満る
御利益のある影踏まんとたずね來し宝けう印塔
三日後は上海の朝か旅立ちのしたくに風の音
ころして聞く
阿部 みわ

草す
松田 詩子
佐藤 貞文
藤原 文

濡れ乍ら喜雨に農夫の立話
洪水の惨渦に空し蟬時雨
庭の百合ほめる声して誰か来る
薰風やテスト用紙の舞いたがる
若き母泣く児あやして螢呼ぶ
睡蓮に暫し休めぬ試歩の杖
白滝や足に馴みし宿の下駄
大花火海なき里の空照らす
遠郭公講議の一節ききもらす
海炎暑沖は孤独の彩たたむ
炎天や黙々と行く葬の列
開け放す大戸に溢れ青嵐
雲の峰浮べてダムの静かな
木苺に昔の味やその色も
梅雨晴や柚が昼夜のゴム合羽
蜘蛛の巣の夕べ忙しき足さばき

小林 猿田 三浦 安田 佐藤 小松 佐藤 草階 本間 斎藤 沢田 田中 三浦 北嶋 石井 田中 芳樹 米吉 諒一 石和子 夢月 温石 溪堂 芳朗
与根 天鳴 緑葉 龍泉 羊村 孤松 流水 茂樹 茂樹 谷村 谷村 谷村 谷村 谷村 谷村 谷村

町村俳句会

九月例会

濡れ乍ら喜雨に農夫の立話
洪水の惨渦に空し蟬時雨
庭の百合はめる声して誰か来る
薰風やテスト用紙の舞いたがる
若き母泣く児あやして螢呼ぶ
睡蓮に暫し休めぬ試歩の杖
白滝や足に馴みし宿の下駄
大花火海なき里の空照らす
遠郭公講議の一節きもらす
炎天暑沖は孤独の彩たむ
炎天や歎々と行く葬の列
開け放す大戸に溢れ青嵐
雲の峰浮べてダムの静かな
木苺に昔の味やその色も
梅雨晴や柚が昼座のゴム合羽
蜘蛛の巣の夕べ忙しき足さばき

齊藤耕之助
伊藤芳穂
伊藤正藏
石井進

石井金之助
保証責任五城目たんす
協同組合創立

之助

協同組合

本莊市、由利郡の業者七十余名に桐たんすの製法を教えた。

〔菅沢梅蔵氏顯彰碑〕

A black and white photograph showing a large, rectangular, dark plaque or monument set into a low wall. The plaque is surrounded by dense foliage and trees, suggesting it is located in a park or garden setting. The image is somewhat grainy and has a vintage feel.

神明社の境内にある

菅沢梅蔵氏の顕彰碑

昭和三十一年十二月一日、元保証責任五城目家具建具工業組合理事長和田喜代吉氏が逝去了。享年六十七歳・氏は法的な組合の初代理事長として昭和十三年以来、指物業の発展に尽力し、最も困難な大東亜戦争の当初から、終戦後まで組合の運営に腐心し、よく組合員を統率して国策に協力したことは、本町指物業界の中興の祖として崇むべきである。

本荘市、由利郡の業者七十余名に桐たんすの製法を教えた。また、昭和三十一年には、横手商工会議所主催の桐たんす講習会に、同じく石井金之助が、講師として横手地区業者六十余名に桐たんすの製法を伝授した。なお昭和二十九年五月には理事長に原田鉢一が就任し、昭和三十五年まで三期在任した。昭和三十五年五月より理事長に渡辺真一が就任し、昭和三十九年まで二期在任した。なお渡辺真一はその間、秋田県木工業組合連合会の理事に就任しておった。

昭和三十九年五月より理事長に石井金之助が就任、昭和五十一年まで六期在任した。なお石井金之助は秋田県木工業協同組合連合会の理事を十一年在任した。

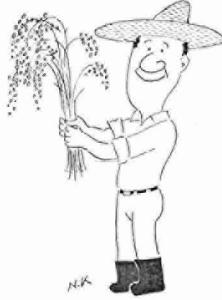
昭和五十一年五月より理事長に長谷川豊が就任し、現在に至つておる。なお長谷川豊は秋田県木工業協同組合連合会の理事に就任し、現在に至つておる。

初代組合長菅沢梅蔵氏
顕彰碑建設

明治の末年五城目町は、主産業として木工業に着目したが、これが振興の先駆をなしたのは、故菅沢梅蔵氏である。氏は大正初頭、県知事から実業視察員に嘱託されたと数次、広く先進地指物業の実状を精査して、改善策を当局に申しし卒先五城目町指物組合を組織して自ら組合長に就任、斬新的手法を採用して業者を指導育成し、たんす、建具その他木材工芸の興隆とその販路の拡張に尽力した。本町の斯業今日の盛況を致して声価を高め得たものも実に氏の恵沢に基く。ここに碑に刻み永くその功を顕彰するものである。

昭和三十五年十一月
五城目指物組合創立
五十周年記念
撰文 加藤 裕
元工業組合理事長
和田喜代吉氏逝去

産業文化祭 10月31日～11月4日



11月 ごみ収集日

町内名	1回	2回	3回	4回	5回
瓜ヶ野	1	7	15	19	26
新里町	1	7	15	19	26
希望ヶ丘	1	7	15	19	26
田町	1	7	15	19	26
上田町	1	7	15	19	26
今町	1	7	15	19	26
御藏町	1	7	15	19	26
小池町	1	7	15	19	26
川原町	1	7	15	19	26
新町	2	10	16	20	27
一一番町	2	10	16	20	27
古川町	2	10	16	20	27
紀久栄町	2	10	16	20	27
中川原町	2	10	16	20	27
館岩城町	2	10	16	20	27
築地町	5	11	17	22	29
烟町	5	11	17	22	29
新烟町	5	11	17	22	29
東磯ノ目町	5	11	17	22	29
西磯ノ目町	5	11	17	22	29
矢場崎	5	11	17	22	29
仲町	6	12	18	25	30
長町	6	12	18	25	30
米沢町	6	12	18	25	30
雀館	6	12	18	25	30
昭辰町	6	12	18	25	30
大川一区	6	12	18	25	30
二区	6	12	18	25	30
三区	6	12	18	25	30
四区	6	12	18	25	30
馬場目	4	13	24		
富津内	4	13	24		
内川	4	13	24		
大川(一区～四区以外)	9	19	29		
森山	9	19	29		
馬川	9	19	29		

・直接搬入の場合は前もって焼却場へご連絡ください。

(電 3958)

休み 3日、8日、14日、21日、23日、28日

<直接搬入料>

2トン未満積車	1回につき	600円
2～4トン未満	1回につき	900円
4トン以上	1回につき	1,350円

※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見るようにしてください。

結核検診を

受けください

第二次結核検診が行われますので、隣近所ささいあって受診するようしてください。

この検診は十六歳以上の学生、事業所で働いている方は受ける必要はありません。ただし、事業所で検診を実施していない場合は受けてください。

お知らせ

日程は次のとおりですので、都合のよい検診場所で受診してください。(数字は時間)

10月25日

杉沢診療所前

恋地佐々木商店前

平ノ下公民館前

中村公民館前

馬場目児童館前

町村伊藤賢蔵氏宅前

帝釈寺公民館前

館越齊藤庄之助氏宅前

北々口伊藤辰雄氏宅前

落合・公民館前

高千・公民館前

湯ノ又・公民館前

浅見内猿田忠治郎氏宅前

上山内・末広入口

富津内児童館前

武石自転車店前

岡本千田商店前

荒要商店前

小浜薬局前

消防署前

役場前

希望ヶ丘伊藤光五郎氏宅前

廣月堂前

門間精肉店前

九富旅館前

△試験の日時・場所

十一月二十三日

(秋田県生涯教育センター)

(秋田市山王中島町一～)

△相談事項

①補聴器の修理調整

②補聴器使用上の相談

△日時

十一月五日(金)

午後一時～午後二時

△場所

消防署二階会議室

△相談事項

①補聴器の修理調整